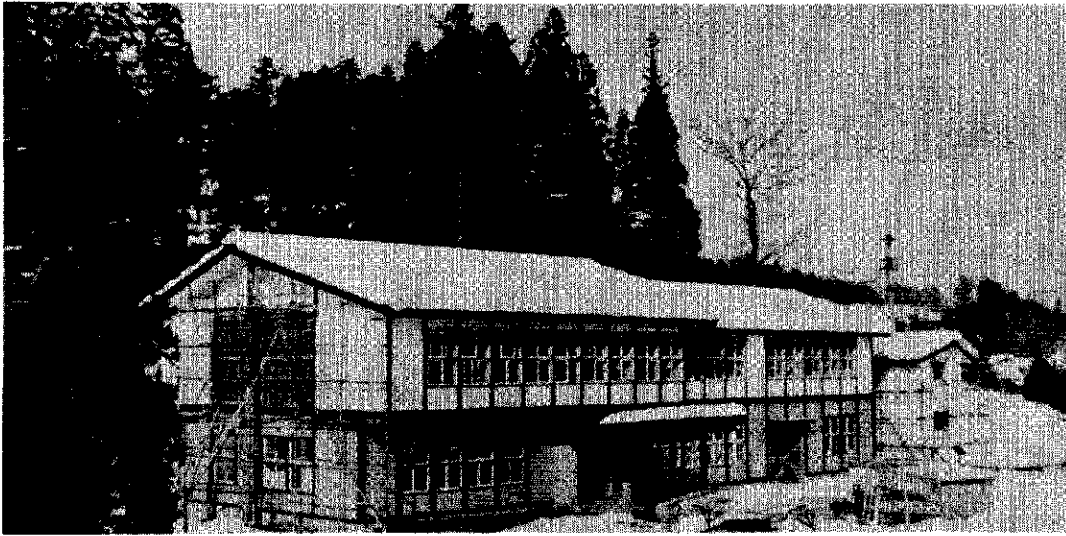


役場庁舎落成、合併十周年、松小屋体落成を祝う



——役場新庁舎は各方面の方々の絶大な協力のもとに12月10日落成した——

↓旧役場庁舎



上越一のモダンな松之山中学校（体育館は本年2月10日に落成した）

松之山

題字は 佐藤町長

第25号

特集号

庁舎落成合併

十周年式典挙行

役場庁舎落成、合併十周年式典を挙げて盛大に催された。席上、松之山小学校体育館落成式を祝う式典は、十時十分前一時から、表参道をりけた。係者三百餘人が参加し、建築費あらまし

- 一、建物、木造二階建て、四、築品費八百四十万円、千五百五十坪
- 二、設計費百六万円
- 三、会館室三、車庫四、トイレ、敷地代取償百八十五万円
- 四、工事費千九百五十万円
- 五、工事費千三百八十万円
- 六、事務室費三千二百、四坪
- 七、財源内取償債二千三百
- 八、財源内取償債二千三百
- 九、財源内取償債二千三百
- 十、財源内取償債二千三百
- 十一、取付道路、給排水工事、費二百五十万円
- 十二、役場庁舎の落成、費八百一十一万円
- 十三、設計費八十万円



佐藤 重 孝

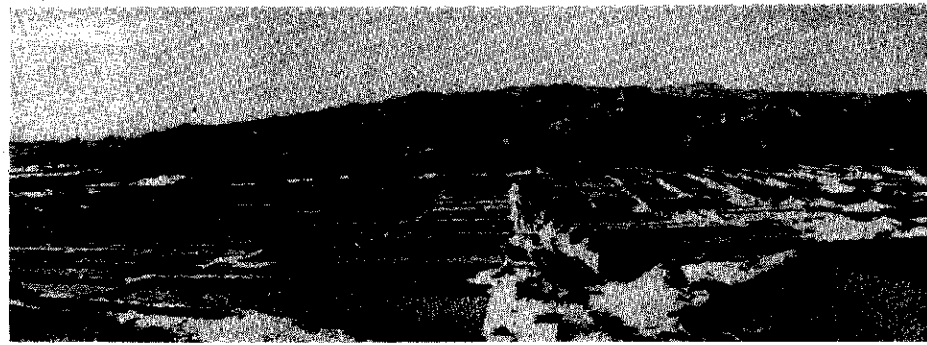
お礼のあいさつ

書は向の中心部を渡された。ことに町村合併十周年を記念し、併せて新庁舎の落成、松之山小学校体育館の落成を慶び、祝うことのできることを感謝いたします。併せてお礼申し上げます。これも、関係各所に御座います。松之山小学校の落成、合併十周年を記念して、合併十周年式典を挙げて盛大に催された。席上、松之山小学校体育館落成式を祝う式典は、十時十分前一時から、表参道をりけた。係者三百餘人が参加し、建築費あらまし

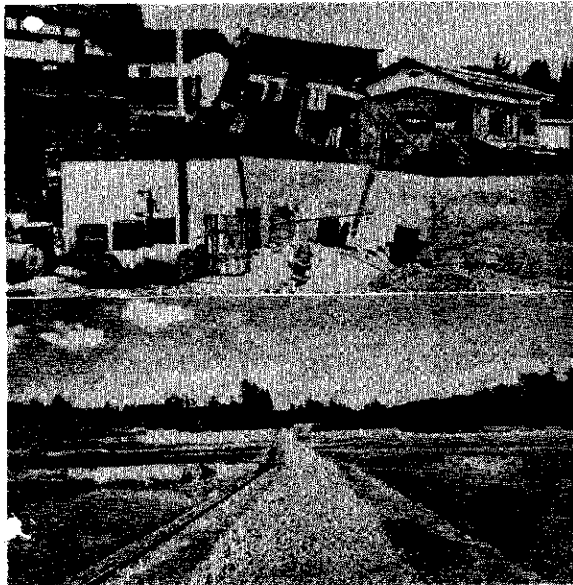
本日松之山町合併十周年、松之山小学校の落成等、合併十周年式典を挙げて盛大に催された。席上、松之山小学校体育館落成式を祝う式典は、十時十分前一時から、表参道をりけた。係者三百餘人が参加し、建築費あらまし

松之山小学校体育館建築費あらまし

- 一、鉄骨六百四十二坪、九十三万円、合計一千六百八十三万円
- 二、附帯工費及び設計費、百八十八万円
- 三、財源内取、補助金四百四十二万円、合計六百四十二万円
- 四、設計費百六万円
- 五、設計費百六万円
- 六、設計費百六万円
- 七、設計費百六万円
- 八、設計費百六万円
- 九、設計費百六万円
- 十、設計費百六万円
- 十一、設計費百六万円
- 十二、設計費百六万円
- 十三、設計費百六万円
- 十四、設計費百六万円
- 十五、設計費百六万円
- 十六、設計費百六万円
- 十七、設計費百六万円
- 十八、設計費百六万円
- 十九、設計費百六万円
- 二十、設計費百六万円
- 二十一、設計費百六万円
- 二十二、設計費百六万円
- 二十三、設計費百六万円
- 二十四、設計費百六万円
- 二十五、設計費百六万円
- 二十六、設計費百六万円
- 二十七、設計費百六万円
- 二十八、設計費百六万円
- 二十九、設計費百六万円
- 三十、設計費百六万円
- 三十一、設計費百六万円
- 三十二、設計費百六万円
- 三十三、設計費百六万円
- 三十四、設計費百六万円
- 三十五、設計費百六万円
- 三十六、設計費百六万円
- 三十七、設計費百六万円
- 三十八、設計費百六万円
- 三十九、設計費百六万円
- 四十、設計費百六万円
- 四十一、設計費百六万円
- 四十二、設計費百六万円
- 四十三、設計費百六万円
- 四十四、設計費百六万円
- 四十五、設計費百六万円
- 四十六、設計費百六万円
- 四十七、設計費百六万円
- 四十八、設計費百六万円
- 四十九、設計費百六万円
- 五十、設計費百六万円
- 五十一、設計費百六万円
- 五十二、設計費百六万円
- 五十三、設計費百六万円
- 五十四、設計費百六万円
- 五十五、設計費百六万円
- 五十六、設計費百六万円
- 五十七、設計費百六万円
- 五十八、設計費百六万円
- 五十九、設計費百六万円
- 六十、設計費百六万円
- 六十一、設計費百六万円
- 六十二、設計費百六万円
- 六十三、設計費百六万円
- 六十四、設計費百六万円
- 六十五、設計費百六万円
- 六十六、設計費百六万円
- 六十七、設計費百六万円
- 六十八、設計費百六万円
- 六十九、設計費百六万円
- 七十、設計費百六万円
- 七十一、設計費百六万円
- 七十二、設計費百六万円
- 七十三、設計費百六万円
- 七十四、設計費百六万円
- 七十五、設計費百六万円
- 七十六、設計費百六万円
- 七十七、設計費百六万円
- 七十八、設計費百六万円
- 七十九、設計費百六万円
- 八十、設計費百六万円
- 八十一、設計費百六万円
- 八十二、設計費百六万円
- 八十三、設計費百六万円
- 八十四、設計費百六万円
- 八十五、設計費百六万円
- 八十六、設計費百六万円
- 八十七、設計費百六万円
- 八十八、設計費百六万円
- 八十九、設計費百六万円
- 九十、設計費百六万円
- 九十一、設計費百六万円
- 九十二、設計費百六万円
- 九十三、設計費百六万円
- 九十四、設計費百六万円
- 九十五、設計費百六万円
- 九十六、設計費百六万円
- 九十七、設計費百六万円
- 九十八、設計費百六万円
- 九十九、設計費百六万円
- 百、設計費百六万円



千枚田 スタイルを一新した千枚田40. 12. 10日着工以来5ヶ月を経て完了、13ヘクタール、事業費1,033万円を要した

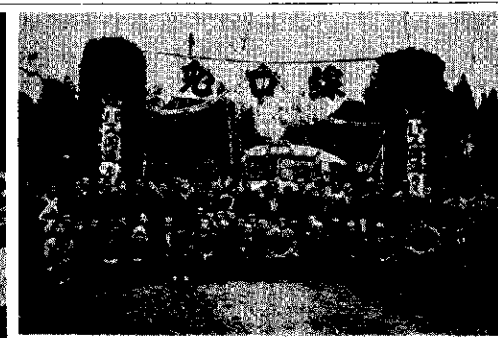
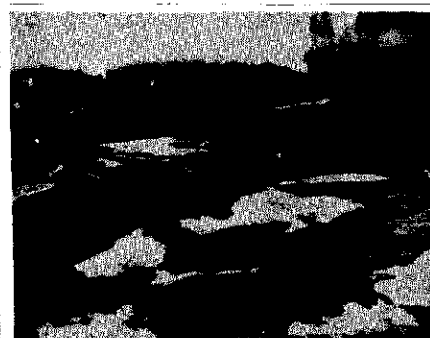
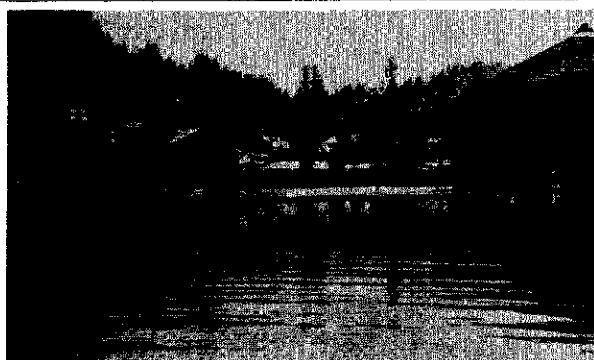


耕地の断層
田んぼのいたるところに断層が現われ、美田は数日にして崩れていった。近口地内で 写真右上

住宅補修
昭和37年暮から翌年の正月にかけて翌の中住宅の補修作業はつづけられた。松之山で 写真右下

建造物の被害
昭和38年5月被害は拡大する一方であった。松之山地内で 写真左上

耕地の復旧
光岡地内の窪田新田、面積九ヘクタール総工費六百十三万、ほかに施設二百万円を投じた。 写真左下



—窪田地区崩田地すべり—

—両村を結ぶ夏口線完成—

試練をのりこえ 復興、前進

- 30年**
- 3. 31 浦田村、松之山村合併
 - 4. 30 村長に高橋貞一氏当選
 - 6. 5 全国野鳥の会総会
 - 9. 10 村長に左藤重孝氏当選
 - # 教育委員選挙
 - 9. 28 町議会議員選挙
 - 10. 1 農業委員選挙
 - 10. 15 高橋貞一氏(元村長)死去
 - 11. 20 松之山中松里分校々會竣功
- 31年**
- 4. 1 固定資産評価基準による家屋評価換えはじまる
 - # 松之山小学校で給食はじまる
 - 8. 1 新築村建設計画地域に指定
 - 11. 1 皇原橋永久橋完工
 - 11. 16 浦田小、中草野中分校竣功70万円
 - 12. 5 安原高松之山分校増築379万円
- 32年**
- 7. 21 松之山町夏水協発足す
 - 13. 28 松里分校量体竣功442万円
- 33年**
- 1. 20 東川ビートル事件発生
 - 4. 23 下堀池地内で激噴地すべり水田など70㍉埋没
 - 4. 1 新築町建設整備事業により松之山、浦田線竣工延長2,000㍉
 - 6. 17 午昼2時から約30分間降雹桑園に人被害
 - 9. 14 旭東農産部考任
 - 10. 19 町制施行、町章制定
 - 12. 5 三省小学校改築竣功
- 34年**
- 1. 1 元日にバス運行
 - 3. 25 原島田久吉氏病氣により死去
 - 4. 大町橋完成
 - 9. 6 町長に左藤重孝氏当選
 - # 議会議員選挙
 - 7. 11~12 家事行により町内全域に耕地欠損などの被害
 - 9. 26~27 台風15号により立木被害、三省小、浦田小被害多し
 - 9. 30 プルバーダ導入
 - 10. 1 島立自然公園に指定
 - 11. 1 福祉年金の支給はじまる
 - 11. 2 浦田~松之山間バス開通式
 - 12. 1 高水橋緊急水道完成
 - 12. 20 中立山分校々會竣功712万円
 - 12. 14 村山真雄氏(元村長)死去
- 35年**
- 1. 28 相沢長三氏(元村長)死去
 - 9. 27 季節保育所はじまる、松之山公食堂で滞児54名
 - 12. 25 浦田中学校校舎竣功783万円
- 36年**
- 2. 20 東西薄苔415cm
 - 9. 16~17 第2室戸台風家屋半、小墾99戸、立等被害3,168万円
 - 10. 15 松里分校々會増築175万円
 - 11. 30 浦田中量体竣功1,020万円
- 37年**
- 2. 1 ラジオ農業学校開設
 - 3. 22 積雪430cm
 - 6. 5 天水島地内北原橋完成
 - 6. 20 季節保育所6カ所258人となる
 - 7. 7 松之山地すべりはじまる免口立退指示2戸
 - 7. 24 町議会発足
 - 10. 5 東川分校増築281万円
 - 11. 24 沢澤湯山橋手に断層現れる
 - 12. 1 赤井崎町開設
 - 12. 3 地すべり災害対策本部設置
 - 12. 8 立ち退き指示21戸に
 - 12. 14 吉備前知事地すべり現地視察未可
 - 12. 20 松口で地すべり3戸取り壊し移転
 - 4. 15 崩田で地すべり3戸取り壊し移転
- 38年**
- 2. 23 塚田知事、高田自衛隊副団長一行ヘリコプター3台で来町、降雪中家屋崩壊、危険移転はじまる立退き指示54戸となる
 - 2. 4 災害救助法適用
 - 3. 14 松之山中学校取り壊し、一般民衆の取り壊し6戸となる
 - 4. 1 町の合併一途を突破
 - 4. 23 「松之山地すべり対策連絡会議」開催
 - 5. 1 防止工事、抗打工はじまる



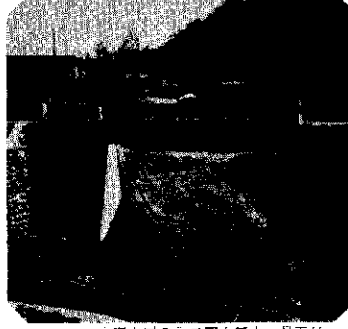
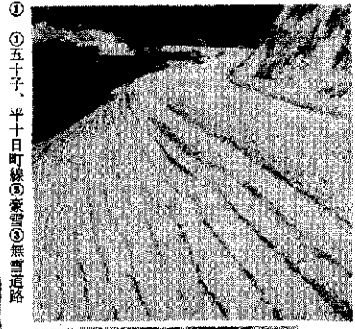


松之山温泉第二号井 昭和39年6月30日地下二七〇mで八九厘の熱水を掘りあげて大成功であった。写真上

大蔵寺原牧場 母林百坪定肉牛増殖基地として昭和36年6月から五年の歳月を要して面積20ヘクタールを敷設し、40ヘクタールを林間牧場にした。総事業費四六〇万円。写真上



タバコ栽培 (写真上)



出合橋 大字中尾の入口四十一年十一月三日竣功総工費二百万円



豪雪 昭和39年2月22日は積雪は四三〇cmで近來積の大雪となった。



植林 植林も盛んだ。町有林野にも昭和37年から41年までに自力造林10ヘクタールに植林された。



季節保育所 35年9月松之山公会堂で開設されて以来九ヶ所となる

- 5.10 応急仮設住宅完成入居 12世帯 240万円
- 7.14 坂田知事来町、土木、農地部長同席
- 7.31 戦後土木委員会一行来町
- 8.12 被災者アンケート実施
- 8.15 松之山町水道給水開始
- 8.18 東北電力変電所閉鎖
- 9.1 松之山小原校舎竣功 273万円
- 9.3 町長に依藤幸三に当選
- 町議選野村山政光氏議長
- 10.17 県議会松文委 行来町
- 10.30 町ではじめてのタバコ栽培22ヶ所
- 11.1 地すべり危険地帯移転補助要請きまる
- 11.12 15 被災者で慰労会
- 砂防課築山新庄、善元技師ほか出席
- 11.17 地すべり被災者出席講演会を派遣
- 11.18 被災者出席計画会議上越支庁で
- 11.23 松之山郵便局、公金等に移転
- 松之山無償譲渡金現
- 11.30 大前町に養田養圃各2、5ヘクタール
- 11.30 天水橋地内丸山橋完成
- 12.4 大蔵寺原牧場建設委員会(松之山小で)取り置きは各町選長来町(松之山小で)取り置き25戸 立退き指示7戸となる

39年

- 1.4 立ち退き指示10戸 総計80戸となる
- 1.20 職業短期訓練所開所
- 1.13 庁舎新築
- 1.15 小正月にバス運行
- 1.16 地すべり対策協議所開設
- 2.1 高校分校に普通課程増設
- 2.7 松之山中本校舎竣功
- 3.6 野鳥こけしとまき県優良土産品に入選す
- 4.1 国保7割給付開始
- 4.11 下郷池地すべり発生 対策本部相沢貞可氏宅におく立ち退き指示37戸
- 4.12 自衛隊ボートによって排水作業に協力
- 4.13 松代町消防団222人応援
- 4.17 自衛隊バク破作業で第2排水路開く
- 4.19 坂田知事一行下郷池現地視察
- 4.20 松之山小四教室とりこわし
- 4.23 養圃会対策委一行来町 布川農協で地元の情報をつくり
- 6.13 長岡徳久ライオンズクラブ松之山地すべり見舞金50万円寄贈
- 6.14 ライオンズクラブ無料診療 378人受診
- 6.16 新高地橋
- 7.1 大蔵寺原牧場開成式 20ヘクタール
- 7.6 夢、町道欠陥など被害申し
- 8.20 湯地御田で聖見口、湯山、新山ではじまる
- 9.12 日本養蚕会松之山支部士はか30名来町
- 9.30 松之山温泉第2号井80度の熱水湧出
- 11.1 鳥居保護区 800ヘクタール指定さる
- 11.7 砂防課コンクリートゲレン建設さる
- 11.20 中尾細川公園 2ヘクタール
- 11.22 県会分設改築 1,145万円
- 12.10 千ノ俣スキー場開設
- 12.10 松之山小校舎竣功

40年

- 1.7 第2回職業短期訓練所開所式
- 2.4 建之名地すべり跡地、山林1.1ヘクタール新築
- 4.2 農業共済組合町移管となる
- 4.9 村山康志氏監製はら賞授賞
- 4.30 天水橋で地すべり立ち退き指示2戸
- 7.12 患者輸送用マイクロバス運行開始
- 9.17 18 台風24号来襲 立ち退き1戸、町道欠陥34ヶ所
- 10.1 国勢調査 人口1万台を越える
- 10.2 天水橋永久橋完工

41年

- 1.7 第3回職業短期訓練所開所
- 2.10 松之山中体育館竣功
- 4.1 越道川、東川筋食川一級河川に流入さる
- 6.1 役場仮守舎で事務開始
- 6.92 新庁舎建築着工 高橋組
- 9.28 松之山小体育館落成
- 刃地造路舗装工事五十坪十日町線改良工事完了 1,330m
- 10.10 松之山市街地アスファルト舗装120m
- 11.14 浦田教員住宅落成
- 11.28 雲上車配置される
- 12.10 役場庁舎落成合併祝賀式挙行

校舎11、屋体6、農地80ターレク 投資的経費五億八千万円

支出総額 13,0890万円 (30年-41年)															
<table border="1"> <tr> <th>人件費</th> <th>材料費</th> <th>燃料費</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>17.4%</td> <td>44.8%</td> <td>17.1%</td> <td>10.8%</td> </tr> </table>	人件費	材料費	燃料費	その他	17.4%	44.8%	17.1%	10.8%	<table border="1"> <tr> <th>放牧的経費</th> <th>雑費</th> <th>雑費</th> </tr> <tr> <td>電燈、農具、材料など</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	放牧的経費	雑費	雑費	電燈、農具、材料など		
人件費	材料費	燃料費	その他												
17.4%	44.8%	17.1%	10.8%												
放牧的経費	雑費	雑費													
電燈、農具、材料など															
収入総額 13,2580万円 (30年-41年)															
<table border="1"> <tr> <th>税金</th> <th>地方交付税</th> <th>町庫</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>20.2%</td> <td>41.6%</td> <td>9.7%</td> <td>28.5%</td> </tr> </table>	税金	地方交付税	町庫	その他	20.2%	41.6%	9.7%	28.5%	<table border="1"> <tr> <th>地方交付金</th> <th>地方交付金</th> <th>地方交付金</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	地方交付金	地方交付金	地方交付金			
税金	地方交付税	町庫	その他												
20.2%	41.6%	9.7%	28.5%												
地方交付金	地方交付金	地方交付金													

五大ニュース決る

合併してから今までの間三、下えび池の地すべりにおきた五大ニュースを昔四、町制施行さんからの投稿によって五、大蔵寺開闢さのように決定いたしました。

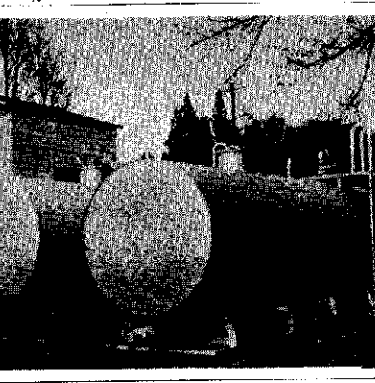
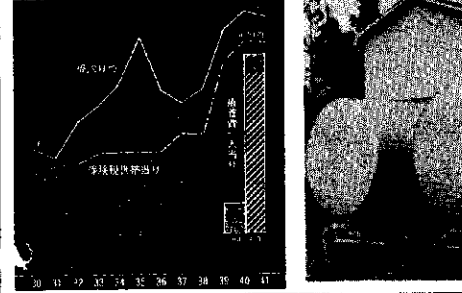
一、松之山地すべり
二、東川のピストル被害事件

合併してから今までの間三、下えび池の地すべりにおきた五大ニュースを昔四、町制施行さんからの投稿によって五、大蔵寺開闢さのように決定いたしました。

一、松之山地すべり
二、東川のピストル被害事件



伊勢灘台風 34・9・26日台風15号は町内におびただしい被害をなした。写真は浦田で撮影された。



昭和二十年から四十一年まで町の一般計総支出額は十三億に達した。このうち投資的経費(建設事業、災害復旧事業など)は五億八千万円で四四%を占めている。

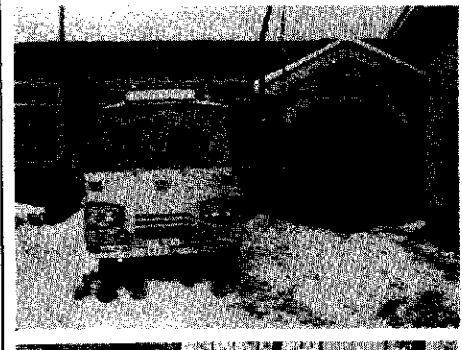
過去二二年間に十一の校舎八つの躯体建設に二億二千万円、農地八十町歩と費用増徴費に一億二千万円、町道復旧に二千万円、その他の経費がなされている。

町の財政状態から見ると昭和三十一年から四十一年までの間に収入は二・八倍、支出は三・二倍になった。しかし町の税収入額は一倍に二倍にとまっている。

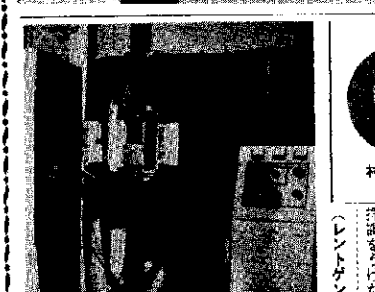
編者の主観は一切いたしません。多数の皆さんから投稿していただいたことを感謝します。

投稿参加者は四十八名で多数かく得者は千名の方です。

村山正氏(種志)佐藤芳一(勉)村山恒巨(義彰)石家武久(田表立)河山山志(赤倉)佐藤野平次(牛立山)



学校給食 昭和31年4月にはじめた学校給食は昭和34年5月までの間に全校が給食をするようになった。



初副校長 村山 康彦

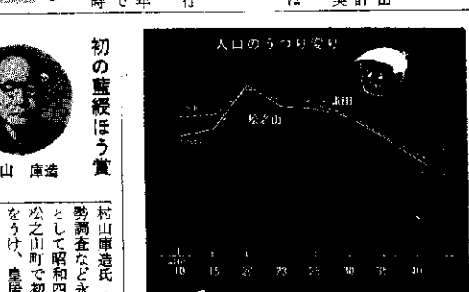
12月30日正月帰省の出稼ぎ集団バスを

最近の晴れ話題として、る月二十六日の会議で出稼ぎ集団バスを運行する計画が決定された。このバスは、十二月三十日発の団体バスであり、十二月三十日発の長期一家族との離別、旅のほろびとなり、家が寂しく、新年を迎えるに、この対策の一環として去

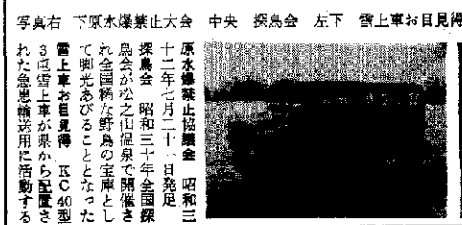
昭和四十年、国は二〇万円で購入され、保計は、南く昭和四十年七月十二日から運行として稼働を突、開始した(写真左)

破 壊字となった。五十嵐レントゲン装置は昭和39年博士は、昭和35年11月19日、11月7日、五万五千円で赴任、町民に心から歓迎され、謝辞を以て、新時代を語り出した。(写真右)

患者移送用マクセルバス (写真右)



村山康彦氏(松之山)は国勢調査など永年統計功勞者として昭和四十年四月九日松之山町で初の准教授賞を与え、農居で天皇陛下の評議をうけた。(レントゲン機)



写真右 下原水爆禁止大会 中央 探鳥会 左下 雪上車お目見得



下原水爆禁止協賛金 昭和三十一年七月二十一日発足 探鳥会 昭和三十年全国探鳥会が松之山温泉で開催された全国探鳥会の主催として表彰を受けることとなった雪上車お目見得 IC40型雪上車が果から配置された金網構造に活動する